

研究主題

意欲的に学び、よく考え表現する子供の育成

書く力を育てる指導を中心にして

研究主題設定の理由

教育目標の具現化に向けて

本校では、学習指導要領改訂の主旨を踏まえ、子供が教育活動を通して身に付ける資質・能力を教育目標（つよく・かしこく・あたたかく）としている。

そして、その具現化に向けて、それぞれの要素や内容、発達段階に応じた子供の姿、その育成につながる活動を構造化し、全ての教育活動の指針としている。（別紙「目指す子供の姿」）

校内研究の目的は教育目標「かしこく」の具現化

子供の実態や教員のニーズを踏まえ、平成29年度から3つの教育目標の中で「かしこく」を重点目標とし、「学習や生活に主体的に関わりながら目標達成や課題解決に向けて活動すること」や、「自らの考えを積極的に他者に伝えること」ができる子供の育成をめざしている。

そして、重点目標の具現化を図るために、研究主題を「意欲的に学び、よく考え表現する子供の育成」とし校内研究の目的を明確にした。

国語科の「書く力」を育てる指導を中心に研究を進める

研究の焦点化を図るために、「意欲的に学び、よく考え表現する子供の育成」の「表現」については子供たちにとって苦手意識の強い「書くこと」に絞って研究を進めることにした。

また、本校では書くために必要な資質・能力を「書く力」とし、「書くための技能」だけでなく、「書こうとする意欲」や「書く内容を考えること」を含めて捉えている。そして、その育成をめざし、副主題を「書く力を育てる指導を中心にして」とし、研究主題に迫りたい。

今年度は、昨年度の「国語科における書く力を育てる指導」について、その手立ての有効性を確かめるとともに、「国語科と他教科等を関連付けた指導」の手立てについて研究を進める。

そして、3年間の研究と研究発表会を通して得た成果を次年度以降の教育活動に活かし、教育目標の具現化につなげていく。

研究経過

国語科と他教科等を関連付けた指導（本年度）

国語科における書く力を育てる指導（昨年度）

国語科における書く力の習得をめざした指導（H29年度）

この研究で目指す子供の姿

書く力を育てる指導を通して身に付ける資質・能力について、学習指導要領解説書(国語科編)を参考に具現化し、それを身に付けた姿を「目指す子供の姿」とした。

低	自分の思いや考えを書くことができる子
中	自分の思いや考えをまとめて書くことができる子
高	自分の思いや考えを広げて書くことができる子

研究仮説

今年度は、以下のことを仮説として、カリキュラムの作成とそれに基づく国語科と他教科等を関連させた授業を中心に研究を進め、研究主題に迫る。

- (1) 国語科で習得した力を、国語科の他の単元や他教科等の学習で活かしたり広げたりしながら活用し、成功体験を積み重ねることにより、書く力が育つ。
- (2) 書く力を育てるためには、国語科においては書く力の要素である「意欲」「技能」を高めたり「考え」もったりする具体的な手立てが必要である。また、国語科の学習を活かした他教科等の学習においては、「意欲」を高めたり「考え」をもったりする手立てに加え、「技能」を活かすための手立てが必要である。

習得

★国語科「書くこと」の系統的指導
→各学年での指導事項の確認

具体的な手立て(30年度)

- (1)「意欲を高める」ための手立て
○題材の設定 等
- (2)「考えをもつ」ための手立て
○校内掲示 等
- (3)「技能を高める」ための手立て
○モデル文 等

具体的な手立て(令和元年度)

- (1)「意欲を高める」ための手立て
 - (2)「考えをもつ」ための手立て
 - (3)「技能を生かす」ための手立て
- ※令和元年度はこの3つの手立てを具体化し授業研究を進める。

活用

★各教科における横断的指導
★日常的な取り組みの実践
→「書く活動」を横断的に取り入れた年間計画作成